

様式第6号（第7条関係）

令和4年 4月28日

（宛先）春日市議会議長 様

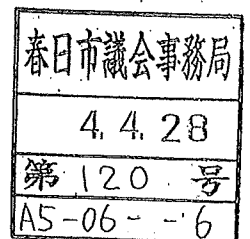
議員氏名又は会派の 創政会
名称及び代表者氏名 米丸 貴浩

政務活動費収支報告書

春日市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

- 1 令和3年度政務活動費収支報告書（別紙1）
- 2 添付書類
 - (1) 調査研究・研修報告書（別紙2）
 - (2) 旅費計算書（別紙3）
 - (3) 領収書（別紙4）



別紙 1

令和3年度政務活動費収支報告書

議員氏名又は
会派の名称 創政会
米丸 貴浩1 収 入
政務活動費 600,000円

2 支 出

項 目	金 額	主な支出の内訳
調 査 研 究 費		
研 修 費	342,938円	オンラインフォーラム・研修,アカデミー研修,議員研修
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要請・陳情活動費	円	
会 議 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	24,728円	図書購入
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	
事 務 費	46,088円	タブレット周辺機器
合 計	413,754円	

3 残 額 186,246円

別紙4

領収書貼付用紙

整理番号	1
------	---

議員氏名（会派の名称）： 創政会

経費項目	調査研究費・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

別紙のとおり

講師謝金を全議員で按分。

創政会分として。

5月27日「自治体の行財政運営におけるコスト情報の意義」

50,000円 ÷ 20人 × 4人分 = 10,000円

受領書

令和3年5月21日

春日市議会 様

住 所 千葉県

氏 名

大塚 成男

下記の金額確かに受領しました。

金 50,000 円也

内 訳

期 間	日数	単価	金額	仕事の内容
令和3年5月27日	1日間	50,000	50,000	議員研修会における講師 (研修のテーマ:自治体の行財政運営 におけるコスト情報の意義)

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称

創政会

調査事項 研修会名称	議員研修会（北川正恭氏）
日時	令和3年 7月 6日（火） 10時00分～12時00分
視察先 場 所	Zoomミーティング（議場）
目的	・所管事務調査から政策立案への手法・議会版BCPの先行事例・タブレット導入によるメリット・市民に伝える手立て・特に若い方の議会への参加,対話型への手段
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>早稲田大学名誉教授の北川正恭先生をお迎えし、コーディネーターにローカルマニフェスト推進ネットワーク九州代表の神吉信之氏によるオンライン議員研修会を開催した。</p> <p>松尾議長から議会活動の総括的報告があった後、議会運営委員長がこれまでの進展と課題について、続いて広報広聴委員長が広報広聴関連について報告を行った。</p> <p>これを受けて北川先生から以下講演がなされた。</p> <p>今までは、執行部に質問する、議論するということが、議会の中心であったようだが、実は、議員間討議こそが民意の反映機関としての議会の役割だということが、皆さんの中で定着してきているようだ。これが議会の中で定着していくように念願する。</p> <p>災害対策本部が設置されたときの議員の動き方についても、議員間討議をされると良いと思う。オンラインが災害対策に効果があるということで、タブレット端末が配布されたというのは大変結構なことである。災害状況の報告の仕方など、災害対策本部が設置された時の議会の対応を議員間で討議していただきたいと考える。</p> <p>次に議会運営委員長の報告から、議員間討議を尊重されているこの考え方をさらにいっそう進めていただきたいと思う。また、マニフェスト大賞への応募を今年は諦めたということだが、自分の議会を客観的に評価し対策を立てるということも重要である。</p> <p>改革の進んでいない議会は、この評価に対して勝手な評価をとか、自分のところはやっているというふうに思っているようだ。改革が進んだ議会は、何が足りなかったのか、何が原因だったのか、というようなことからモチベーションにつながっていく。</p>

いろんなシティズンシップをやっていくことは議会活動として特に重要となる。単に監視機能ではなく政策提案機能もあり、その政策提案を進めるための立法機能を議会が負うことを示しながら、多様な意見の集約が必要であり日本の民主主義のあり方を述べていただくことも非常に大切なこと。

中央と地方は協力し合わなければならないという部分は多いわけだが、やはり現場にこそ真実があるので地方から中央に提案し政策を出していただき、そして地方の執行部に対しては議会からの提案を大いにさせていただく態勢が、議会のほうには必要ではないかと期待する。

執行部は公平公正をもって政策を担保していかなければ、公金を扱う以上はそうあらざるを得ない体質があるが議会は違う。新しい問題が出てくれば、今までの法律や規則が間違っている、あるいは邪魔になっていけば議員提案で法律や規則を直す（これが民主政治）。したがって、執行部はどうしても守りの姿勢、前例踏襲になるが議会のほうから積極的に発言をしていただければ、執行部も勇気をもって変えられるということにもつながっていき地方政治が確立する、充実する重要なポイントになる。

続いて広報広聴委員長の報告から、広報広聴が両輪でとらえられることは大進歩であり、広報のやり方もいろいろあることに着目し、進歩することはとても大事なこと。ファシリテーションの話があったが、だいぶ進化したと思う。

例えば議会報告会で、議員や市職員に対して市民は何を言っても良いと思っっている方が多く、議員が司会進行を務めると問題が出る場合がある。民意は多くの人に意見を聞くところにあるのでファシリテーターを第三者にすると、いわゆる不規則発言に対しては全員の発言に機会を与えるので、一人1回だけにしてくださいといった、いわゆる冷静なファシリテイトができる。

ぜひ議会の報告のあり方、広報広聴のあり方も、これから更に進化をしていただきたい。

今回の報告から、議会内の形式要件の整備や実質的な改革に方向が少しずつ来ていると思われる。

ぜひこれからも開かれた議会として、市民の声を聴く、広聴機能の充実、そしてその実現に向けていくということが大切と考える。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

2

議員氏名 (会派の名称)

創政会

経費項目	調査研究費・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。
------	---

※ 領収書貼付欄 (領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。)

別紙のとおり

講師謝金を全議員で按分。

創政会分として。

7月 6日「住民代表としての議会の役割」

100,000円 ÷ 20人 × 4人分 = 20,000円

領 収 証

一金 100,000円也 (消費税込)

但し、 議員研修会講師料 講師料として

上記の金額正に領収いたしました。

2021年 7月 27日

春日市議会 御中

住所：東京都港区高輪1-5-33-604

株式会社 北川政治経済研究所

代表取締役 北川 正恭

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称

創政会

調査事項 研修会名称	全国地方議会サミット2021
日時	令和3年7月7日(水) 13時00分～18時00分 令和3年7月8日(木) 10時00分～16時00分
視察先 場 所	Zoomミーティング
目的	ローカル・マニフェスト推進連盟/マニフェスト大賞実行委員会が主催する「全国地方議会サミット2021」に参加し、今後の議員活動の資とする
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	<p>プログラム 第1日目</p> <p>■基調講演 「チーム議会でデジタル変革を」 北川 正恭 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)</p> <p>■講演 「地域におけるDXー自治体DX・住民接点DXから地域活性DXへー」 松本 良平 ((株)NTT データ 企画調整室長)</p> <p>■特別講演 「だれひとり取り残さないーデジタル庁の変革ビジョンー」 平井 卓也 (デジタル改革担当大臣)</p> <p>■議会セッション 「オンライン議会の最前線と議会からのDX」 前田 将臣 (大阪府議会議員) 齋藤 久代 (茨城県取手市議会議長) 鈴木 太郎 (自由民主党横浜市会議員団団長) 中村 健 (コーディネーター/早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長)</p> <p>■議会セッション 「『議会からの政策サイクル』の作動とチーム議会への変革ー議会評価による検証を起点にー」 江藤 俊昭 (大正大学社会共生学部教授) 清川 雅史 (会津若松市議会議長) 川上 文浩 (可児市議会議員)</p>

野澤 清 (日本生産性本部)

プログラム 第2日目

■講演

「社会の変革とこれからの地方自治を展望する」

廣瀬 克哉 (法政大学総長)

■議会事務局セッション

「チーム議会における議会(事務)局職員のミッション」

吉田 利宏 (コーディネーター/元衆議院法制局参事)

清水 克士 (滋賀県大津市議会 議会局長)

浜田 将彰 (東京都墨田区監査委員・前区議会事務局長)

白井 明子 (神奈川県茅ヶ崎市議会事務局次長補佐)

■講演

「議会改革度調査より 議会 DX・多様な参加の最新トレンド」

中村 健 (早稲田大学マニフェスト研究所事務局長)

■メディアセッション

「映画『はりぼて』の現場から」

砂沢 智史 ((株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督)

「社会の変化とメディアからみる地方議会」

千葉 茂明 (コーディネーター/月刊「ガバナンス」編集主幹)

人羅 格 (毎日新聞社論説委員)

山下 剛 (朝日新聞記者)

杉田 淳 (NHK 報道局 選挙プロジェクト 記者)

砂沢 智史 ((株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督)

■講演

「社会の変革に対応する自治体と議会の役割」

片山 善博 (早稲田大学教授/元総務大臣)

■総括・宣言

北川 正恭 (早稲田大学名誉教授/元三重県知事)

宣言文がすべてを物語っているので以下引用する。

北海道栗山町議会が全国初となる議会基本条例を2006年に制定してから今年で15年を迎える。この間、議会の本来の役割に目覚めた地方議会が従来の議会活動を見直し、新たな技術の活用等も行いながら議会改革を進めてきた。今では、全国の地方議会が政策や政治を競い合う善政競争を巻き起こしながら創造性豊かな議会活動へと進化している。

しかしながら、我々の活動の成果は住民と十分に共有できているとは言い難い。一部の住民とは意見交換等を通じて課題解決に取り組んだ結果、議会の存在意義を認知してくれている一方、未だ多くの住民から「議会はなにをやっているかよくわからない」という声が聞こえるのも事実である。

また、地方自治体は総合計画や地方創生総合戦略で描いた政策に全力

で取り組んでいるにもかかわらず人口減少や地域力の低下に歯止めがかかっていないのも現実だ。

加えて、IT技術の進化は新型コロナウイルスの影響により一層加速し我々の生活に定着してきている。今後デジタル化が進展し住民と議会との関係が大きく変化する事は想像に難くない。

こうした時代背景の中、「予算や事業を実施しているにも関わらず思うような成果が得られていない」ことや「複雑な社会背景のもと多様な住民ニーズを的確に集約出来ていない」という声が挙がることは議決機関としての責任をあらためて重要視しなければならない。地方議会がこれまで積極的に取り組んできた議会改革は、今、新たな場面転換を迎えているのではないか。

議会改革は議会機能の充実や活性化に留まらず住民福祉の向上に寄与するためにある。そのためには、「思い付き」「場当たり」的な議会活動ではなく、活動のゴールを明確にし、戦略を描いて適切に活動していくことが肝要となり、目指すゴールに向かって政策サイクルを確立・作動させることが議会活動の背骨となる。政策サイクルを動かしていくためには、名実ともに政策立案・課題解決のパートナーとしての議会局（議会事務局）との連携・強化が重要となるため、議員と職員とが一体となったチーム議会の構築が必須である。

また、多様化する住民の価値観や誰一人取り残さないための住民意見の集約を果たすためにはアナログ活動では限界があり日々進化するIT技術を積極的に導入し活用したい。これは、緊急時・災害時等への備えにもなり二元的代表制の一翼を担う地方議会としては活動手段を複数整えておくことは多様化社会に応えるだけでなくリスクマネジメントとしても重要と言える。

以上のことから、これからの「住民福祉の向上を果たす議会」を実現するために以下宣言し実行する。

1. 議会の政策サイクルを議会運営上のシステムとして確立を目指すこと。
2. 議会局（議会事務局）との連携強化を明示し議会の機能充実を図ること。
3. 住民福祉向上のための「チーム議会」を構築すること。
4. オンラインでの常任委員会を開催するための委員会条例改正を進めること。
5. オンラインでの本会議の開催に向けて、法整備を求めるよう国へ働きかけること

以上のとおり、春日市議会においても、認識を新たにし取り組んでいくべきである

領収書貼付用紙

整理番号	3
------	---

議員氏名 (会派の名称) : 創政会

経費項目	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄 (領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。)

39R インターネット受付 領収書 (お客様控)

日 2021年 6月 14日 時間 15時 37分

店舗 07581-9

春日大和町四丁目

申込No. 0758171655623590

お申込商品代金 40,220円

受付番号: 159746

お客様氏名: カスガシギカイソウセイカイ 様

検収印



チケット入手方法は下記ホームページをご覧ください。

合計金額 40,220円

発行者

お問い合わせ先: Peatix

電話番号: 0120-777-581

メールアドレス: peatix@peatix.com

お問い合わせ受付時間: 10:00-18:00

ホームページ: http://ptix.co/ticket

【お申込内容】

お名前: カスガシギカイ ソウセイカイ

イベント名: 全国地方議会サミット2021「改革から変革へ」

チケット名: 【オンライン参加】議員

※本領収書はチケットではありません。

※チケットは2時間後にPeatixアプリ、パソコンの画面上に表示されます。

※スマートフォンをご利用の場合、アプリ(Peatix)をダウンロードし、ログイン後チケットのお受け取りをお願いします。

※パソコンをご利用の場合、Peatixページにアクセスし、ログイン後マイチケット画面からチケットのお受け取りをお願いします。

Peatixサイト(<https://peatix.com/dashboard>)

※詳細は<http://ptix.co/ticket>をご覧ください。

禁止複製

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称

創政会

調査事項 研修会名称	オンラインフォーラム コロナ+災害に、どう応える？地方議会
日時	令和3年 8月 7日 (土) 12時30分～16時30分
視察先 場 所	Zoomミーティング
目的	毎年のように起こる災害に加え昨年から続くコロナ感染被害の中、防災、減災、災害時の地方議会・議員のあり方について、昨今では議会版BCPを策定する地方議会も増え、普段からしっかり議論をし、対策を考える必要性が認識されるようになった。しかし災害対策基本法に地方議会について触れる条文はなく、「地方防災計画」の中に「議会」という言葉は見当たらないなど、まだまだ議論の余地がある。実体験を例に考える。
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>■第一部</p> <p>【問題提起】</p> <p>●北川正恭氏</p> <p>コロナが表出させた議会の役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集まらない議会 オンライン議会の開催 タブレット端末の整備 専決処分対応 災害対策本部設置時の議会対応 2. 議員活動と議会活動 チーム議会で 民意の反映期間の意識 政策提案と議員提案条例と議員間討議 首長執行部と期間競争 <p>具体策 一点突破、全面展開 TTP（徹底的にパクレ）の提案</p>

- 可児市議会、大津市議会、取手市議会議員、西脇市議会議員等
- ・今こそチャンスである
 - ・執行部はどうしても消極的だが議会は民意の反映機関。だからこそ議員が動くべき。
 - ・専決処分について、集まらないからとの理由で行なわれるのは、議会の役目に疑問を感じなければならない。合議制の意味を考えること。
 - ・災害対策本部に立ち入れられないのも理解できるが……議長を中心に参加市対応できるように変えていければ
-
- ・規制等に対して、個人活動及び議長を中心とした議会活動に邁進するよう留意
 - ・議会全体で行動を起こせば、執行部側も聞かざるを得なくなる。議会と執行部が緊張のある関係になれば、地方創生など夢物語である。民意の反映機関として、二元代表制の意義を考えよ
 - ・議会が変わる決意が必要
 - ・議会のあり方を見るときに、議会事務局をどうみるか
 - ・議会は単なる監視機能ではなく、議事を通じて議決権を得ることであり、事務局との関係も見べき
 - ・チーム議会で非常勤と常勤のいいところを取り組んで行動する
-
- ・議会報告会のファシリテーターは第3者をお願いし、クレーマーには3分など時間を切るなどし、誰もが参加しやすい環境を作る
 - ・議会が変われば市民も賛同する。質的充実を考える
 - ・監視機能だけということは国の作戦で貶められていたということ
 - ・量的削減から質的充実を図る

●江藤俊昭氏

問題意識：非常事態の日常化と非常事態の冷静な判断

- ・政策は環境や条件によって変わる。メリットやデメリットはある。つまり取り敢えずなもの。なので常に状況に応じて検証をしなければならない
- ・例外状況を常に意識しながら
- ・専決処分は公開討議の機会を奪う
- ・足踏みではなくベターな選択をする
- ・危機が突然襲ってきたのではなく、常に効き状態だった。課題が山積していたのにも関わらず、おざなりにしていた

コロナ禍で浮上した「住民自治の根幹」として議会の役割の論点

- ・議会事務局の職員が地元にとれくらいいるのか。緊急時に集まれるのか
- ・一般質問は大事だが、議案審査を重視せよ
- ・議会運営の議論に狭めないこと
- ・オンラインを活用し、住民の意見をいかに吸い上げていくのか。住民自治を進めるために

- ・シビルミニマムの再考。住民を巻き込んで

■事例

●大津町

- ・体育館は避難所としてどうか（天井の落下など）

●人吉市

- ・執行部との連携不足を感じた

●古賀市

- ・地球温暖化，熱中症に対する議会の政策立案の挑戦

【第二部】

■論点整理

●深堀

・人吉市

→大津市：執行部との連携不足とは？

→議会事務局を通して執行部への決まり事はしていた。執行部から突っ込まれた。議員は来ないでほしいといった雰囲気である

→大津市：手の足りていないところへの手伝いよりも，中央とのパイプづくり，連携が重要。議会局としては，事務局として議員からの要望などを全て取りまとめ，災害対策本部とは議会局が行うようにしている

・可児市：大規模災害が続いている中，準備不足だったとのことだが，どのようなところがそうだったのか？

→人吉市は議会として動く体制や考え方がなかった。個人で動いたため，他の議員が何をしているのかまるでわからなかった。こんな水害になるとは想像もしなかった。危険を感じて30分しかなかった。要支援者名簿はほぼ役立たず（民生委員さん頼り）

→可児市：雷等も増え，ありとあらゆる災害に対応していかなければならない。ニッチ情報の吸い上げなど必要。早急にBCPの構築を

・古賀市

→可児市：温暖化対策の規模感は？市としての環境宣言とかあるから7日？

→壱岐市の取り組みが刺激になった。千葉氏からのアドバイス（熱中症対策から取り組んでみては）もあった。常任委員会での所管調査から政策提言にあげるのが難しい。

→可児市：全てにおいて温暖化を絡めていければ良いのでは？

・江北町（町長）：首長の中には臨時議会はしたくない，先決でやりたいという人もいるだろう。するなら，専決処分をするといっておくべき。また，軌道修正ができるようにしておく必要性もある。議会からは喉から手が出るような意見など出してくれるのでありがたい。国が何かを導いてくれるというのは幻想だ。議員の皆さんと共に作り上げ

ていくのが地方自治体かと感じる。災害対策本部に議員を入れるという感覚がそもそもない。

・大津町

→大津市：JCなどの活躍とは

→市民連携と行政連携

→大津市：避難所の運営に直接お任せかと思った。運営責任を職員にさせると住民要望がメンタル的にきつい。そこにJCや青年部が関わっていれば、それも少ないのであろう。避難所ヘルプにいった際、大津市の人間には住民も優しかったと聞いている。避難所運営は外部委託が良いのかも。

・千葉氏

→平時の関係づくりが大切と感じた

→熊本地震時の反省は生かされなかったのか？

→人吉市：議会がまとめて執行部へ、といった程度だった

→古賀市：議論なく承認は避けた。議会内でワークショップをし、皆の意見でできたんだ、といった圧も必要

→大津町：執行部へ過度に遠慮していたところがあったように感じる。ケースごとにある程度の取りまとめをしておくべき

・前田氏：人吉市の photo をどうみたか、自分ごととしてみたか？想像力が必要である。ここの発想がないと右往左往するのみ。組織として動けない。発生してどう対応するかはもとより、起きる前にどうするのが大事。余所事を我が事として考えていく

■ワークショップ

・住民に対して議会はどうかあるべきか？

そのためにどう行政と連携するのか？

議会の体制を作るのか？

グループ2

小郡市：大場美紀／白井市：平田新子／西原村：尾崎幸穂

・議会ってそもそもどういった役割があるのか？

→意見をしっかりとすすめるものと感じている

・議会としての対応などないかあるか？

→西原村：議員の存在意義などわからなかった。避難所が足りないところにおいて、避難所ではないので物資は届かず、避難所に行ってくれと言われるのみ。声が届かない、要請が通らないのを実感した。それが届けることができる議員になろうと思って立候補した。

・白井市：取手市の事務局に岩崎氏が全てのものを持っている。平田が言ったといったらくれる。感染症なども含め災害としてあり、タブレットの活用も徹底している。全国のライオンズクラブと社会福祉協議会が提携した。

・自助、共助、公助の意味を考えること。行政がなぜ動くのか。説明ができるように。

・飯塚市：遠慮しがちになる議員。組織としてきちんとしていない。

■振り返って

- ・江藤氏：①想像力を持たなければならない。非日常の日常化②実践の共有。やったことの検証③グローバルなことも地域に密接したこと。地域が変わればグローバルが変わる。グローバルの視点を持ちながらやっていく。
- ・北川氏：議会から変えよう！マトリックス予算の話。議員活動は元より、議会は最高の決定権があるということを再認識せよ。地方は議会から変える。民意の反映だからだ。執行部はガチガチだが、議員は自由だ。
- ・長内氏：ルール化の良し悪しもよく考えること

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	4
------	---

議員氏名 (会派の名称) : 創政会

経費項目	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄 (領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。)

BQ

インターネット受付 領収書 (お客様控)

日 2021年 7月 27日 時間 14時 45分
 店舗 07581-9
 春日大和町四丁目
 申込No: 0758172085312290
 受付番号: 257077
 お客様氏名: カスガシギカイソウセイカイ 様

お申込商品代金 22,220円

検収印



合計金額 22,220円

チケット入手方法は下記ホームページをご覧ください。

お問合わせ先: Peatix
 電話番号: 0120-777-581
 お問い合わせ受付時間: 10:00-18:00
 メールアドレス: peatix@peatix.com
 ホームページ: http://ptix.co/ticket

【お申込内容】

お名前: カスガシギカイ ソウセイカイ
 イベント名: オンラインフォーラム「コロナ+災害に、どう応える」
 チケット名: 地方議会議員
 ※本領収書はチケットではありません。
 ※チケットは2時間後にPeatixアプリ、パソコンの画面上に表示されます。
 ※スマートフォンをご利用の場合、アプリ (Peatix) をダウンロードし、ログイン後チケットのお受け取りをお願いします。
 ※パソコンをご利用の場合、Peatixページにアクセスし、ログイン後マイチケット画面からチケットのお受け取りをお願いします。
 Peatixサイト (https://peatix.com/dashboard)
 ※詳細はhttp://ptix.co/ticketをご覧ください。

禁止複製

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称

創政会

<p>調査事項 研修会名称</p>	<p>令和3年度 市町村議会議員特別セミナー</p>
<p>日時</p>	<p>令和3年 11月 4日 (木) 13時00分～16時45分 令和3年 11月 5日 (金) 9時00分～12時20分</p>
<p>視察先 場所</p>	<p>市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番</p>
<p>目的</p>	<p>市町村アカデミーが主催する「令和3年度 市町村議会議員特別セミナー」に参加し、今後の議員活動の資とする</p>
<p>内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強いまちづくりと自治体・議会の役割 ・災害被害の方程式 <ul style="list-style-type: none"> →自然の外力×人口(暴露量)×社会の脆弱性 社会の脆弱性とは、高齢化、高齢単身世帯の激増、近所付き合いの減少、町内会自治会活動への参加者減、減り続ける消防団員 ・正常化の偏見「自分は大丈夫」 <ul style="list-style-type: none"> →自分にとって都合の悪い情報を無視したり過小評価してしまう人間の特性 →避難行動ができない! ・災害後の要介護者認定数の増加 <ul style="list-style-type: none"> →仮設住宅など避難先の生活の影響による心身の衰えが最多 避難行動、避難生活が厳しいと増加する うつ状態の要介護者が増える →個別計画による支援で重度化抑止効果があるのでは 市町村等の介護予防事業、高齢者の自立支援・重度化防止事業は、安全な避難確保、自立した避難生活に効果があるのでは ・在宅の高齢者等支援が重要 <ul style="list-style-type: none"> →在宅の高齢者・基礎疾患患者等の早急な見守り、体調管理、保険・医療・福祉・生活支援が重要 (在宅介護事業所のBCP、保健医療調整本部、支え合いセンターなど) →体調が悪ければ福祉避難所へ コロナ禍においては特に重要 ・災害関連死の抑制

- ・ 2021年は福祉防災元年
 - 避難準備・高齢者等避難情報から高齢者等避難へ変更
 - 個別避難計画作成を市区町村の努力義務化
 - 介護福祉事業所，障害福祉サービス事業所に3年以内にBCP作成を義務付け
 - 福祉避難所ガイドライン改定
 - 浸水被害の危険がある地区の開発規制等の流域治水関連法
- ・ 避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針
 - 市町村においては，地域の特性や実情を踏まえつつ，災害が発生しまたは発生する恐れがある場合に，誰一人見逃さないという重要な目標を達成するため，この改定した取組指針を活用し，適切に対応⇒SDGsとの親和性
 - 令和3年の改正災対法においては，個別避難計画の作成について市町村の努力義務という形で規定された（災害は想像ができないものであるので計画が必要）⇒要支援者だけでなく支援者の命も守る
 - 優先度が高いと市町村が判断したものについて，地域の実情を踏まえながら，改正法施工後からおおむね5年程度で取り組む
- ・ 地域住民の善意頼み⇒福祉も含めた計画づくり
 - 当面の個別計画作成方針として，優先度の高い人から作成①ハザードマップのレッドゾーン②本人の要介護度が高い③支援者の支援度が低い
 - 自治体の福祉担当者，防災担当者が間に入って，当事者と福祉専門職を中心に地域住民，民生員等が話し合い
 - 福祉，防災，地域の連携で「強み」を生かし「弱み」を補完する避難支援体制づくり
- ・ 災害時の議会・議員の使命
 - 住民の命と尊厳を守る
 - 議会・議員だけではできない
 - ⇒市町村当局と協働し，国等や国民に働きかける
 - 災害時でも，地方自治と民主主義を守る
- ・ 議会のサイレントタイムと再開
 - 災害対策本部が応急対策を実施中は，議会活動を休止
 - 執行機関が議会資料を作成し，説明が物理的に可能になる時期以降に再開を
 - 短時間で提案型質疑を
 - 感染症期は模範的対策を
- 議員がすべきこと
 - 情報収集・提供
 - 地域支援活動
 - 国等関係機関への要望
 - 視察の受け入れ
- 議員がしてはならないこと
 - 行政職員を威嚇
 - 支援者への利益誘導
 - 行政批判
 - 他議員の活動批判
- ・ 組織は「非日常」が苦手
 - 危機時は臨機応変な対処が必要
 - 職員の災害対応能力向上が必要

- 議会が正常化の偏見を破る行動を
防災以外の常任委員会で各部署の防災の質疑を
- ・防災基本条例，地域防災計画の目的を「身体」から「尊厳」に変えよう
- 高齢者の逃げ遅れ・関連死が多い
障がい児者が安心して避難できない
授乳時にジロジロ見られる
- これらはヒトの尊厳が守られているのか
尊厳が守られなければ命も危ない
- ・これからの防災は
- 損失を減らす防災から，「価値向上」の防災へ
Withコロナの時代だからこそ，日常から人間関係，近所関係が良好で，安全安心の地域づくりが災害や危機に「も」強くなる
- 安心の価値向上型防災の概念
→価値向上への継続的取り組み，質の低下を最小に早期に復旧復興を進める⇒両方を実現する地区防災計画への取り組みを行う

今日を愛し，明日に備える

●地方議会改革の変遷と今後の展望

～20年にわたる連載『変わるか!地方議会』の取材から
みえてきたもの

- ・地方議会取材のきっかけ
- 地方自治法と現実との乖離
- ①議会事務局職員の任命権
- ②法と規則の関係
- ③議会への長等の出席
- ④正副議長の任期
- ⑤長と予算編成権と修正（減額・増額）
- ⑥専決処分
- ⑦町村総会
- ・議会基本条例制定以降
- 2006年5月の北海道栗山町議会に続き，改革意識を持つ議会が次々と制定し，議会改革に取り組みだした
- ・議会改革の新たな展開
- ①議会事務局職員ネットワーク
- ②議会例規の体系化（会議規則を廃した全国初の会議条例）
- ③議会IT化（評決システム，タブレット導入など）
- ④災害対応「議会BCP」（タブレット・通年会期制との連動）
- ⑤4年任期を見通した議会版実行計画（ミッションロードマップ策定）
- ⑥高校生のキャリア教育支援
- ⑦議会における「対話」の浸透
- ⑧議会評価の進展（議会白書，外部評価）
- ・今後の展望と課題

- ①議決権の検証（例えば合併・廃置分合）
- ②議員のなり手不足の解消（議会モニター，政策サポーター）
- ③総合計画に議会としていかに切り込むか（代案，修正案）
- ④地方創生・地方版総合戦略，地域づくりと議会（特に若者世代との連携，支援）
- ⑤議会の強みをいかに生かすか（議員個々ではなく「議会」としての強みの再認識）
多彩な公選職／民意の反映／権限の重さ（自治法96条）／既存制度にさほどとらわれない
→議員歳費，自動開会（招集なし）一般質問の休憩中に傍聴者と意見交換（模擬公聴会）
- ⑥合議制機関として「総意」を示せるか
未成年者を含めた多様な意見の聴取／議会における自由討議の実践，合意形成の仕組みづくり／議会費の編成権，それに伴う事務局職員人事・採用・育成，任命権者である議長任期→地域づくりの主要な担い手としての議員の存在感向上
- ⑦「チーム議会」の醸成（議員と事務局の関係）
- ⑧フォーラムとしての議会（市民フリースピーチ制度，市民・議会・行政が一堂に会して議論，市民一日議会）
- ⑨未来の有権者づくり（高校生による請願，小学生による陳情）
- ⑩政策法務における「立法事実の把握」（議会の方が執行部職員より得手？）
- ⑪議会の広域連携（市議会議長会による議会広報に関する改革提言，政策アドバイザー制度）
- ⑫コロナ禍（危機的状況）の議会
議会は不要不急なのか（専決処分の乱発，一般質問の中止・短縮，議会報告会の中止）
議会のオンライン化，DX化（ネット上で市民の意見集約）

民意の反映⇒環境づくり，合意形成，政策サイクル

●公共施設更新問題への挑戦

秦野市の取り組みと日本のハコモノ事情から

・公共施設更新問題

- 都市化の進展や経済成長とともに集中的に整備されてきたハコモノは近い将来一斉に更新する時期がやってくる
- 高齢化と人口減少が進み財政が悪化し，現状のままでは必要性の高い公共施設まで良好な状態で保てなくなる恐れがある
(人口減少と高齢化社会の進展／建築時期の集中／すでに始まっている超高齢社会／増大する財政負担／もうひとつの根深い問題…維持管理費用は増えないのに延長は増え続けている道路)
- ⇒現在のハコモノの総量を維持し続けることは不可能
秦野市のみならず全国の市町村で同じ問題が起こる
自分たちの便利さや豊かさだけを求めて結論を先送りすることは，次世代に大きな負担を押し付けることとなる

⇒住民の高齢化を止めることはできないが、更新問題が起こることは止める事ができる

- ・公共施設更新問題への対応は、施設白書からはじまった公共施設更新問題は自治体財政が抱える時限爆弾

→量「ストック」から

小中学校費に公立幼稚園を加えた学校教育費全体では財政規模を大きく超える支出にもかかわらず減り続ける公立幼稚園時

→経費「コスト」から

学校等の年間コストからみえてくるもの

→利用状況「サービス」から

公民館の統廃合や不足感など、利用者数と稼働率よりみえてくるものとして、使いたい時間や部屋がほぼ同じであることから不足感を感じるので、会議室の分割使用など工夫次第で不足感は緩和できる

図書館の場合、人口と蔵書数、蔵書と貸出数、人口と利用登録者数や立地、高齢化による登録者頭打ちなどを鑑み、蔵書庫の建設よりも分館機能の充実や配本サービスを充実させては

- ・更新問題を解決するため、方針と計画を創り、実行しよう

→各自自治体にとっては、総合管理計画の中身よりも、個別の施設計画を作り、実行に移すことが一番大切なポイント

実効性のある個別計画とするためには、財源の調達機能を備える必要があり、あてにできない一般財源を期待しては絵にかいた餅なので、何かで生み出す工夫が必要

→再配置の方針を作成

①原則として新規のハコモノは建設しない

建設する場合は他施設の同面積（コスト）分の更新をやめる

②優先度

③削減の数値目標

④計画を進めるための5つの視点

ハコと機能の分離、公民連携の推進、複合化とスケルトン方式での建設など

- ・事例

→障害者福祉施設の民営化（公民連携によるサービス充実）

→保健福祉センターへ郵便局誘致（公共的機関ネットワーク活用）

→中学校多機能型体育館（義務教育施設と地域施設の複合化）

→地域住民とともに進める再配置（小規模地域建設の移譲と解放）

→公立幼稚園の民営化「こども園化」（公民連携によるサービス充実）

→右向け右のマネジメント（公共施設使用料を一括改定）

→公共施設のポテンシャルを引き出すチャレンジ

①庁舎施設内へのコンビニ誘致

②図書館の無人貸出サービス「スマートライブラリー」実証実験

③実証実験から家庭環境に左右されない学習環境の整備へ

④「市民サービス向上」が生む非効率性を逆利用

- ・日本のハコモノ事情

→施設白書から見えてくるハコモノ整備の基本パターンを基に自らの自治体を当てはめてみる

→ハコモノを減らしてもそれ以上に人口減少が進めば住民一人当たりの負担は減るどころか増える

※春日市は…

住民一人当たりのハコモノ面積は

「2.36㎡/人」

新志村式計算法による危険度ランキングは

「1,400/1,741位」

→市民との危機感共有のための情報公開, 市民意識による協働行政の危機感が市民と共有されているのか? 正しい情報に基づいた市民の声は届いているのか? 聴く姿勢は?

●まちの幸福論

～自分たちのまちをデザインしよう～

- ・(例)公園課長…当市に住んでいない
→市に住んでいる人の話を聞かずしてどうする
- ・市の事業は全て住民参加, の勢いで!

・メンバーづくり

→ワークショップの開催前に, 地域や職場の方から話を聞く
緊張しにくい場やとっかかりの話題を考慮

→地域で面白い活動をしている人を紹介してもらい, その方々をステップとして輪を広げていき, より多くの話を聞く事ができる

・ワークショップ

→参加する人は何かしらの思いがある

提案, 実行型の意見を(批判とか要望ではなく)だそう

→新しいことを学んだり新しい発想ができるように導く

住民参加で学び合う楽しさ, 生きがいを感じることができる
レベルの低い要望の抑制になる

→意見を出すためには調べる必要がある

そうすることで, 本当の意見が言える

ワークショップ内で, 隣の人の発言がレベルアップしていると,
おっ! 私もやらないと! となる

→意見を出した市民同士での仲間づくりができ, 更にコミュニティーが発展する

※10年も続ければ凄いことになる

・課題の見つけ方

→ライフステージに合わせて事業整理

役所がやってきたレシートと, 自分が生きてきた, 生きていくレ

シート（自分、家族や知人、地域）を突き合わせることで、自らのプランに役所の事業があるのか？

参加者のレシートとともに突き合わせ、役所がやってきた事業に対し、根拠をもって評価や判断、意見ができるようになる

- ・自分の常識の中で物事を決めない！！

→ルールは市民（協議会）で決めよう（役所に丸投げするから禁止オンパレードとなる）

- ・民主主義を理解していない

→対話を大切に！！

問題があれば、また対話すればよい

（例）図書館は静かであるべきか？ボール遊びはダメ？など

- ・キーワードは可視化

→音声入力で、多く出てきた言葉を視覚化するアプリがある
見える化にて共有しやすくなる

- ・（例）雑誌の作り方教えます（取材の方法、映える写真の撮り方、コピーライティング、文章の書き方などなど）⇒インフォーマルな社会資源の発掘⇒あったらいいな（否定や反論が出ない仕組みづくり）

※ワークショップをひとつのツールとして利用するにあたり、いかに住民を巻き込み、住民がその事業を自分事として捉え、地域のためになる活動を起こすことで、住民同士の絆が深まり、それがまちづくりに繋がっていくことこそ、住民参加による理想的なまちづくりの進め方である

旅費計算書

議員氏名又は

会派の名称

創政会

日 程	令和3年11月4日(木)～令和3年11月5日(金)	
視察先 及び 視察内容	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉県美浜区浜田1丁目1番 市町村議会議員特別セミナー	
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他()	
鉄道賃(往復)	春日 ～ 博多	@230×2 ×4=1,840 円
鉄道賃(往復)	博多 ～ 福岡空港	@260×2 ×4=2,080 円
鉄道賃(往復)	羽田空港 ～ 品川	@292×2 ×4=2,336 円
鉄道賃(往復)	品川 ～ 幕張本郷	@649×2 ×4=5,192 円
バス賃(片道)	幕張本郷駅 ～ 市町村アカデミー	@220×1 ×4= 880 円
パック料金		177,600 円
合計 (4名分)		189,928 円

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	5
------	---

議員氏名（会派の名称）： 創政会

経費項目	調査研究費・ <input checked="" type="radio"/> 研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

「別紙のとおり」



領 収 証

通 番	T002-013678
領収証番号	94387041501-02-87 *
発 行 日	2021年10月19日

福岡県春日市議会 創成会 様

下記の金額正に領収いたしました

¥177,600 -

但し 11月 4日 11/4~11/5航空券代金として

ご入金内訳 (今回のご入金額)

日 付	種 別	金 額
2021/10/19	現 金	¥177,600
	合 計 金 額	¥177,600

福岡支店

〒810-0072 福岡県福岡市中央区
長浜 1-1-35
新KBCビル2階
TEL: 092-731-5215

出納責任者

取 扱 者

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川 2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	6
------	---

議員氏名 (会派の名称) : 創政会

経費項目	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄 (領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。)

振込金受取書(兼手数料受取書)

令和3年 11月 1日

現金冊

お振込先	店(所)	金額	十億	百万	千	円
					¥ 2,480,000	
お振込目		現金類			2,480,000	
普通 2:当座 4:貯蓄 9:その他		未決済小切手 枚				
フリカナ	三有ワソン	貯金振替				
おなまえ	市町村アカデミー様	起算日・指定日				
フリカナ	カスカガキ ソウセイ	手数料徴収区分				
おなまえ	春日市議会 創政会様	1:即納 2:後納 9:不要			1660	
おとしこ	〒816-8501 福岡県春日市原町3-1-5					

○お振込金額のうち決済未確認の小切手は、上記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続きをしないで当店において返却します。

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- この振込金受取書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店

印紙
(200円)
組合員または
振込金+手数料
5万円未満は
非課税

整理番号

50

領収書発行日

令和3年11月4日

領 収 書

春日市議会 創政会 様

¥24,800 ※

但し、研修負担金として。

研修科目 : 市町村議会議員特別セミナー

受講者氏名 : 米丸 貴浩、川崎 英彦、白水 祥太郎、飯田 浩昭

入金日 : 令和3年11月1日

入金方法 : 銀行振込

千葉県美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修所
分任出納役 酒井 航

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称

創政会

調査事項 研修会名称	今こそ対話による政策提言を！ ～コロナ禍でもキック（聴く）力を伸ばす議会～
日時	令和4年 1月 29日（土） 13時30分～17時30分
視察先 場所	Zoomミーティング
目的	コロナ禍になり「三密」回避のため自治体議会では一般質問の中止・延期、専決処分が相次ぎ、さらに住民との対話の場である議会報告会・意見交換会も中止が余儀なくされた。その中でオンラインを活用した対話の場を模索する議会も出てきた。ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据えて、今こそ求められる対話による自治体議会の政策提言のありかたを考える。
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	<p>古賀市では「気候変動問題で提言」での取り組み事例が発表された。議会基本条例第13条により、議員全員で共通認識及び合意形成を図り政策立案を推進するため政策推進会議を開催することができ、提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる。政策テーマの発表会にて出された案件について先行するにあたり絞り込みの試行錯誤の上、審査項目の検討や策定を数値化した。2年間で6回の研修会を行った。そのうちオンラインでは2回行った。2グループに分け重要度調査やグループ討議を重ね、自由討議で全員が率直な発言を行い、5点の提言内容を合意した。市長に提言をし、市長はゼロカーボンシティ宣言を出した。</p> <p>以上の事例より、合意形成の習慣を当たり前にする事、その中で政策・条例提案力をどうつけるかとの課題もみえた。</p> <p>西脇市は「議会は住民自治のプラットフォーム！」をテーマとした事例が発表された。コロナ禍初期の第1次補正時において各会派各議員が政策（事業）提案書の提出などを行い議員協議会（市行政からの回答）を開催し臨時会に臨んだ。しかし、議員間討議が無かったことが最大の問題点であった。第2次、3次、4次補正と議員間討議を行い意見集約をした上で臨時会や定例会に臨むことができた。第3次の際は新型コロナ禍対策に住民の意見を反映させるべく、区長会や商店会との課題懇談会を開催し、更に商店会代表者とフォローアップ課題懇談会を開催し</p>

た。課題懇談会からはじまり班会議委員会で素案作成、代表者会議で原案作成、全員協議会で意思決定と、予算反映へのステップを踏んだ。2事業に反映された。さらに3年度予算案への対策への提案を募集し、26の提案を議員全員で討議・意見集約し、14事業にまとめたものを市長へ追加提案し、10事業に反映された。その後の9月定例会にて常任委員会で執行の進捗を確認した。新たな課題も発覚した。

オンライン議会と語ろう会を開催し、今まで参加したことのない層へアプローチできた（特に若い女性が多かった）、今後も参加したいとの多くのご意見を頂くなど、確かな手ごたえを感じた。参加者から出た意見や提案は所管の常任委員会で議論し、委員会を代表して一般質問をするに至った。さらにその結果について委員会で協議をした。

以上の取り組みより、「市民の皆さんとの交流を積極的に行い、その中で出された意見・注文・批判・感謝を行政に届ける活動が大事」「机上での議論ももちろん重要だが現場の状況把握や現場の声を聴かないで結論は出せない。まずは足を運ぶ、動くことを心掛けたい」「委員会として、高齢者・障がい者・子どもたち・消防団・医師会等のみなさんの意見を聴き、議案審査や事務事業評価等に活かしていきたい。動いて市民の生の声を聴き、活発な議論につなげていきたい」といった各委員長の考えがでた。

住民の意見をあらゆる手段で聴き、議会として提案する工夫と行動を起こしていくためにも、議員間での自由討議の元いかに合意形成を行うのか。対話の意味するところを改めて考えるきっかけとなった。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	7
------	---

議員氏名（会派の名称）： 創政会

経費項目	調査研究費・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

「別紙のとおり」

— 領 収 証 —

創政会
春日市議会議員 白水祥太郎 様
令和 4年 1月29日
NO. 40

金額 5,000 円

但し書 オンラインフォーラム「今こそ対話による政策提言を!!」
の受講料として 上記正に領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

— 領 収 証 —

創政会
春日市議会議員 飯田浩昭 様
令和 4年 1月29日
NO. 41

金額 5,000 円

但し書 オンラインフォーラム「今こそ対話による政策提言を!!」
の受講料として 上記正に領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

— 領 収 証 —

創政会
春日市議会議員 米丸貴浩 様
令和 4年 1月29日
NO. 42

金額 5,000 円

但し書 オンラインフォーラム「今こそ対話による政策提言を!!」
の受講料として 上記正に領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	8
------	---

議員氏名 (会派の名称) : 創政会

経費項目	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄 (領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。)

ふくぎんキャッシュサービス
ご利用控
 毎度ご利用いただきありがとうございます。手続料は領収書裏面のご案内をごらんください。
 印紙税申告納付につき福岡税務署承認済

年 月 日	お取扱時間	お取扱店
04 01 26	14 36	
取引銀行番号	取引店番号	科目
		口座番号
お取引内容	お取扱金額	
振込	* * *	
お取引コード	お取扱後残高	
190	* * *	
(ご案内)	お取扱金額(枚)	
	02 円 00 円 00 円 00 円	
	00 円 00 円 00 円 00 円	

〒[] [] [] [] [] [] 店
 普通
 ローカル・マニフェストスイッシュネットワークキウ
 シュウ カンキ ノブキ 様
 ご依頼人
 フクオカケン カスカシキカイ ソウセイカイ
 様
 電話番号 [] [] [] [] [] []
 普通番号 1017
 振込金額 ￥15,000
 振込手数料 ￥110
 おつり ￥4,890

福岡銀行

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称 創政会

調査事項 研修会名称	ローカル・マニフェスト推進連盟主催 オンライン研修会 「オンライン議会最前線——実践と可能性」
日時	令和4年 1月 31日 (月) 14時00分～16時30分
視察先 場 所	Zoomミーティング
目的	<p>前年度受講した研修会「自治体DXと議会の役割」にて得た知見及びその後の議会活動において経験・体感した要素に対して、我々は継続的に当該分野の先進事例における考え方やアプローチ手法を吸収すべく、本年度も自治体DXに関する研修に積極的に参加しようと考えていた。</p> <p>本研修では、「議員が集まって議論する」という議会の本質的なありかたを問い直してみるという大きなテーマが提示されていた。その上で、仮にオンラインを非常事態以外、さらには本会議でも活用可能にしようとするならば、必要な環境及び法規の整備をどう実現し得るか、という明確な研究の方向性が企図されていた（添付資料参照）。</p> <p>我々のニーズと研修の企図が大いに一致したので、参加した。</p>
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	<ol style="list-style-type: none"> 1 北川正恭氏による基調提起では、「地方議会がgame changer」となり、地方自治法改正など国に訴えていく時期である旨のエポックメイキングな視点が提示された。 2 廣瀬克哉氏による基調講演では、「本気の危機管理を」というアラートが提示された。具体的想定1つに、「本当に議場に集まれなくなることの想定を」との警鐘があった。また、同氏からは、オンラインで少し議論しにくいことと、議論そのものできないことにおいて、どちらのデメリットを受け容れるか、という点について、「割り切る必要性」という印象的なフレーズを用いて再確認された。 3 取手市議会議長齋藤久代氏及び同議会事務局次長岩崎弘宜氏による実践報告では、demotech導入の経緯を時系列で説明しつつ、以下の極めて重要な具体的事例への言及があった。 <ol style="list-style-type: none"> a) 「市民リライター」導入によるクラウド上での即日議事録実現 b) 「市民リライター」が主体的に議会を体験し、議会は校正と感想というフィードバックを得られる相互メリット c) 「市民リライター」の集中的な作業という特徴が有する、将来的な障がい者就労支援の可能性

d) オンライン会議の継続的経験から得た「議論は場所ではない」という新しい価値観

e) 360° カメラによる、委員会のインターネット配信の継続的経験から得た、頷きや反応を可視化する重要性

- 4 大津市議会局長清水克士氏による実践報告では、オンライン本会議実現に向けた意見書提出や実証実験などが時系列に紹介された。ここでは、現状ではインターネット配信は「公開」に該当せず、「公開」の定義について地方自治法改正が必要という課題点が明確に提示された。また、意見書提出の過程で同氏が霞が関官僚の拒否反応から感じた「国会準拠論」への疑問や「団体自治の侵害」のような障壁が、オンライン本会議実現への過程に伴う現状も提示された。

【所感】

我々は、「何のためのオンライン活用か」という大前提を忘れないように心がけ、すべての貴重な提起や報告と向き合った。そして、今回得た知見及び本市議会を想定した検証は以下のようなものであった。

- 1) 最悪の事態を想定し、その際にどう動くべきか、という視点で設定された目標が必要。
⇒ 本市議会では、時間はかかっているが議会BCPを策定中。感染症対応マニュアルも常時更新中。形式の整備は徐々に達成していくであろう。
- 2) 上記目標達成のために、現状足りない物理的環境、法整備、人的資源、共通認識、継続的な訓練（疑似経験）、予算、といった部分の具体的な把握が必要。
⇒ マニュアル化の次は訓練（疑似経験）が特に重要であると考える。訓練の後、共通認識が生じ、次に何が必要か、何が不足しているかといった点が一層明瞭になるはずである。本市議会では訓練が完全に不足している。マニュアル化と訓練とをセットで考える習慣が常時必要と考える。
- 3) 議会DXの導入には相当なエネルギーを要する。
⇒ 本市議会で先進DXの導入を論じるに際して、議論の場にいる人間が議員だけで十分に展開し得るであろうか。導入しようとする事項ごとに、外部招聘の見識者及び市民を含めた合議体において議論し展開していくほうが効果的で実現可能性が大きいのではないだろうか。
- 4) 「議論は場所ではない」。頷きや反応の可視化。「公開」の定義についての法整備。
⇒ いずれも、本会議や委員会の傍聴を容易にするという点、つまり誰でもどこでも傍聴できるという点において、さらには、密室会議の積極的回避という点において、我々にとって当然の視点である。「それは市民のためになるか否か」という大前提のもと、これらの視点を課題解決のための重要な柱としたい。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	9
------	---

議員氏名（会派の名称）： 創政会

経費項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

「別紙のとおり」

領収データ - 2022年1月31日 (月) ローカル・マニフェスト推進連盟《オンライン研修会》
『オンライン議会最前線 実践と可能性』

発行日	2022年1月31日
宛名	福岡県春日市議会 創政会
合計	¥20,000
但し	チケット代金4名分 (米丸貴浩・川崎英彦・飯田浩昭・白水祥太郎)
注文日	2022年1月26日
注文番号	15173245
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	2022年1月31日 (月) ローカル・マニフェスト推進連盟《オンライン研修会》『オンライン議会最前線 実践と可能性』



印刷する

編集モード

オンライン議会最前線

オンライン開催

1/31
14:00-16:30

ローカル・マニフェスト推進連盟
オンライン研修会

実践と可能性

2020年の新型コロナウイルス感染症は、議会活動にも大きな影響をあたえました。初期においては専決処分や一般質問のとりやめなどの事例が一部報道されましたが、多くの議会では自治体の議事機関としての機能を果たすべくさまざまな工夫によりその機能の発揮や維持への取り組みが行われています。

「議員が集まって議論する」という議会の本質的なありかたについて、その本質を問い直し、非常事態における議会機能の維持とさらなる活動展開へ、オンラインを活用する議会が一気に広がり、さまざまなオンライン議会の活動が展開されています。

なぜオンラインに取り組むのか。非常事態以外でも活用すべきか。本会議でも可能なのか。先進事例の報告と必要な環境整備、条例改正など今後のオンライン議会の可能性を議論します。ぜひご参加ください。

基調提起

「DXとデモテックで地方から・議会から変えていけ」

北川 正恭
早稲田大学名誉教授、元三重県知事



基調講演

「討論の広場と議事機関としての議会とオンライン」

廣瀬 克哉
自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表
法政大学総長



実践報告

「デモテック前進！
デジタルとオンラインで議会が変わる」

齋藤 久代 岩崎 弘宜
茨城県取手市議会議員 同議会事務局次長

取手市議会

実践報告

「コロナと非常事態に備える！
オンライン本会議実現へのミッションロードマップ」

清水 克士
滋賀県大津市議会局長

大津市議会

実践報告

「もっと市民に開いていく！
議会DXの推進でチャンスロスをなくせ」

中野 智基 田中 健
愛知県知立市議会 議長 同議会DX推進PT座長

知立市議会

ディスカッション

コーディネーター

廣瀬 克哉
自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表
法政大学総長

パネリスト

齋藤 久代
取手市議会議員
岩崎 弘宜
取手市議会事務局次長
清水 克士
大津市議会局長
中野 智基
知立市議会議員
田中 健
知立市議会議員・議会DX推進PT座長

日時 2022年1月31日(月) 14時から16時30分まで
会場 Zoom ミーティング
対象 議員、首長、議会事務局・自治体職員、市民等

参加費 議員 5,000円(税込)
一般(市民・議会事務局職員等) 2,000円(税込)
申込期限 2022年1月28日(金) 17時

お申込

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/news/2021121300013/>

《注意事項》1. お申し込み前にホームページ記載の留意事項を必ずご確認ください。

2. 請求書払いのご希望は専用フォームにて発行手続きをしてください。

こちらからお申し込みください

《問合せ先》

事務局：早稲田大学マニフェスト研究所(担当：山内、亀井) 電話番号：[REDACTED]

メール：mani@maniken.jp

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	10
------	----

議員氏名（会派の名称）： 創政会

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

「別紙のとおり」

〒 : クレジットカードにてお支払い

用明細

注文番号 : 213310-20210810-0216175731

注文日 : 2021/08/10 09:30

発送日 : 2021/09/10


品明細

商品コード	商品名	数量	単価(税込)	金額(税込)
784865964028	物流センターの仕事	1	2,420	2,420

合計金額(税込) 2,420

支払金額 2,420

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社 ブックス
〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-
楽天グループムゾンハウス
TEL: 
E-mail: info@book.s.rakuten.co.jp

Rakuten ブックス

領収書

春日市議会 創政会様

但し : クレジットカードにてお支払い

利用明細

注文番号 : 213310-20210809-0215378734

注文日 : 2021/08/09 18:11

発送日 : 2021/08/10


商品明細

商品コード	商品名	数量	単価(税込)	金額(税込)
9784474074644	自治体議員が知っておくべき政策財務の基礎知識—予算・決算・監査を政策サイクルでとらえて財政にコミットできる議員になる—	4	3,300	13,200

合計金額(税込) 13,200

支払金額 13,200

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社 ブックビジネス部
〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-
楽天グループビル5F
TEL: 
e-mail: info@books.rakuten.co.jp

注文番号 250-2201398-9036610 の領収書
このページを印刷してご利用ください。

Visa (): 2021年8月10日: ¥ 5,808
Visa (): 2021年8月10日: ¥ 3,300

発行日: 2021年8月12日
注文日: 2021年8月10日
Amazon.co.jp 注文番号: 250-2201398-9036610
ご請求額: ¥ 9,108

福岡県春日市議会
創設委員会

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

2021年8月10日に発送済み

注文商品	価格
1点 コミュニティ・オーガナイジング——ほいし未来をみんなで創る5つのステップ, 鎌田肇乃子 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 2,200
コンディション: 新品	
1点 地域とゆるくつながるユーザープラットフォームと関係人口の時代ー, 石山 恒寛 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 1,100
コンディション: 新品	
お届け先住所: 坂田 浩昭 816-0806 福岡県春日市光町3丁目2番地2 中野ビル40D	

配送方法:
お急ぎ便

2021年8月10日に発送済み

注文商品	価格
1点 群ひとり取り残さない住民に伝わる自治体情報の届け方, 佐久間 智之 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 2,090
コンディション: 新品	
1点 【NHKあさイチで紹介】マイリテラデザインー弱さを生かせる社会をつくらう, 澤田 賢洋 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 1,870
コンディション: 新品	
1点 スペースキーで見た目を整えるのはやめなさいー6割の社会人が見落とす資料作成のキホー, 四禮 隼子 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 1,848
コンディション: 新品	
お届け先住所: 坂田 浩昭 816-0806 福岡県春日市光町3丁目2番地2 中野ビル40D	

配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法: Visa カード番号の一部: [REDACTED]	商品の小計: ¥ 9,108
請求先住所: 坂田 浩昭 816-0806	配送料・手数料: ¥ 0
	注文合計: ¥ 9,108
	ご請求額: ¥ 9,108

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	11
------	----

議員氏名（会派の名称）： 創政会

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

「別紙のとおり」

タブレット端末アクセサリ注文書

会 派 名(議員名) :

創政会

No.	商品コード	商品名	金額 (税抜き)	数量	小計金額	政務活動費分	注文者名
1	LE41441040	ipad 10.2 2019年モデル/フラップ ケース/ソフトレザー/ブラック	3,900		0		
2	LE41440700	ipad 10.2 2019年モデル/フラップ ケース/ソフトレザー/2アングル /ブラック	3,880		0		
3	LE41440760	ipad 10.2 2019年モデル/フラップ ケース/ソフトレザー/360度回転 /ブラック	5,900		0		
4	PP7E902320	アップルペンシル(第1世代)	12,300	4	49,200		米丸、川崎、飯田、白水
5	LE41428790	スマホタッチペン/2WAY/道電織 維タイプ/ディスクタイプ/ブラック	850		0		
6	LE41437980	ipad 10.2 2019年モデル/保護フ ィルム/反射防止	1,150	4	4,600		米丸、川崎、飯田、白水
7	LE41414010	Bluetoothキーボード/ケース一 体 型/マルチペアリング/汎用/ブ ラック	7,500	4	30,000		米丸、川崎、飯田、白水
8	LE41457260	BTミニキーボード/メンブレン/ス タンド/マルチペアリング/ブラック	2,900		0		
合 計 金 額(税込)					92,180円	46,088円	

【政務活動費算出方法】 ※1人分を算出後×人数分の合計額を算出する。

No.4 ペンシル (12,300円×1/2)×1.1=6,765円…①

No.6 保護フィルム (1,150円×1/2)×1.1=632円…②

No.7 ケース (7,500円×1/2)×1.1=4,125円…③

(①+②+③)×4人=46,088円(政務活動費充当額)

タブレット端末アクセサリ注文書
(4月16日(金)締切)

春日市議会事務局

No.	商品コード	商品名	金額 (税抜き)	数量	小計金額	注文者名
1	LE41441040	ipad 10.2 2019年モデル/フラップ ケース/ソフトレザー/ブラック	3,900	0	0	
2	LE41440700	ipad 10.2 2019年モデル/フラップ ケース/ソフトレザー/2アングル /ブラック	3,880	0	0	
3	LE41440760	ipad 10.2 2019年モデル/フラップ ケース/ソフトレザー/360度回転 /ブラック	5,900	1	5,900	春令会(黒)
4	PP7E902320	アップルペンシル(第1世代)	12,300	12	147,600	公明党4、春令会2、創政会4 松尾議長、吉居議員
5	LE41428790	スマホタッチペン/2WAY/道電織 維タイプ/ディスクタイプ/ブラック	850	0	0	
6	LE41437980	ipad 10.2 2019年モデル/保護フィ ルム/反射防止	1,150	14	16,100	公明党4、春令会2、令桜会2 創政4人、松尾、吉居
7	LE41414010	Bluetoothキーボード/ケース一 体型/マルチペアリング/凡用/ブ ラック	7,500	12	90,000	公明党4(黒)、令桜会2(黒) 創政会4(青)、松尾議長(黒)、吉 居議員(青)
8	LE41457260	BTミニキーボード/メンブレン/ス タンド/マルチペアリング/ブラック	2,900	0	0	
合計金額(税込)					285,560円	

現金

振込金受取書(兼手数料受取書)

3年6月29日

振込先	店(所)	金額	十億	百万	千	円
	振込先 おなまえ	現金類		7	285	5560
お受取人	おなまえ	未決済小切手 枚				
	おなまえ	貯金振替				
ご依頼人	おなまえ	起算日・指定日	月	日		
	おところ	手数料徴収区分	手数料(税込)		円	

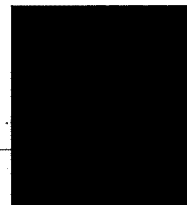
①普通 2:当座 4:貯蓄 9:その他
 フリガナ ソフトバンク株式会社 様
 フリガナ ソフトバンク株式会社
 〒816-8501 春日市議会議務局 様
 〒816-8501 春日市原町3-1-5

手数料徴収区分	手数料(税込)	円
1:即納 2:後納 9:不要		

○お振込金額のうち決済未確認の小切手は、上記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続をしないで当店において返却します。

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- この振込金受取書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店



印紙
(200円)
組合員または
振込金+手数料
5万円未満は
非課税